

No title available

Publication number: JP47027070 (U)

Publication date: 1972-11-27

Inventor(s):

Applicant(s):

Classification:

- international: **A47L9/00; A47L9/00; (IPC1-7): A47L9/00**

- European:

Application number: JP19710026411U 19710408

Priority number(s): JP19710026411U 19710408

Abstract not available for JP 47027070 (U)

Data supplied from the **esp@cenet** database — Worldwide



印 小
(1,500円)

実用新案登録願 (2)

昭和46年4月8日

特許庁長官 殿



1 考案の名称
デンキソウジキ
電気掃除機

2 考案者

居 所 名古屋市中区瑞穂区堀田通9丁目3番地
ミズホクホリタドオリ
コウゲヨウ
ブラザー工業株式会社 内
氏 名 タケウチ ソウイチ
竹内 聡 一

3 実用新案登録出人

住 所 名古屋市中区瑞穂区堀田通9丁目3番地
ミズホクホリタドオリ
コウゲヨウ
(526) 名 称 ブラザー工業株式会社 内
代表者 取締役社長 ヤス イサヲ
安井 正 義

4 代理人

(467) 居 所 名古屋市中区瑞穂区堀田通9丁目3番地
ミズホクホリタドオリ
コウゲヨウ
ブラザー工業株式会社 内
(0063) 氏 名 アオ シマ ショウソウ
青島 祥 造
電話 名古屋(052)811-2511番(大代)

5 願附書類の目録

- | | |
|-----------|-----|
| (1) 明細書 | 1 通 |
| (2) 図面 | 1 通 |
| (3) 請求証 | 1 通 |
| (4) 委任状 | 1 通 |
| (5) 願書の原本 | 1 通 |



46-026411

方式
審査

47-27670-01

明 細 書

考案の名称

電気掃除機

実用新案登録請求の範囲

本体 10 の吸入口 11 にフレキシブルホース 12、延長管 14 及び吸込口アタッチメント 15 を接続して使用する電気掃除機において、

前記本体外側面にその長手方向に沿って延びる二条の収納溝 17, 18 を形成すると共にその溝の後端をそれぞれ互いに本体尾部外周に沿って接続させてなり、フレキシブルホースの一部を前記尾部外周に巻回させると共にそのホース及び延長管を前記二条の収納溝に収納保持させることを特徴とする電気掃除機。

考案の詳細な説明

この考案は電気掃除機に関するもので、特に掃除機本体の外側にフレキシブルホース、延長管等

を収納保持できるようにした電気掃除機の構造に
関するものである。

以下、図面に従つてこの考案の詳細を説明する
と、図において10は電動送風機、集塵装置を内
装する掃除機本体で、前面には吸入口11が開口
している。12はフレキシブルホース、13は曲
り管、14は伸縮可能な大径小径2個の管14a、
14bよりなる延長管、15は床用吸込口アタッ
チメントで、第1図に示すように、その順序で前
記吸込口11に接続され、掃除作業に供される。

16は掃除機本体10の上面に設けられたハン
ドル、17、18はそのハンドル16の両左右両
側に平行に設けられた前記ホース12、延長管14
のための収納溝である。その収納溝17、18は
ハンドル16の側壁と、本体10の側面より上方
に向かつて伸びるヒレ状壁19、19とによつて
形成され、上方に向かつて開放されている。また
その収納溝17、18は後端において、前記曲り

管 13 の曲り角度 α と一致した角度で本体尾部下
方に向かつて伸びる傾斜溝 20 と連続している。

本体尾部下面外周に沿つて彎曲溝 21 が形成さ
れ、その彎曲溝 21 の両端は前記傾斜溝 20 の下
端と接続している。それによつて一方の収納溝 17
から傾斜溝 20、彎曲溝 21 を経て本体他側の傾
斜溝 20 から他方の収納溝 18 へと接続する一本
の連続した溝が形成される。そしてその溝はハン
ドル 16 に関して左右対称形をなしている。

前記フレキシブルホース 12、曲り管 13、延
長管 14、吸込口アタッチメント 15 はその接続
を外すことなく前記各溝に収納保持される。すな
わち、延長管 14 は曲り管 13 を傾斜溝 20 に合
致させて一方の収納溝 17 に収納保持される。フ
レキシブルホース 12 は吸込口 11 との接続を外
すことなく、本体 10 側に向かつて U 字状に屈曲
して他方の収納溝 18 及び傾斜溝 20 に沿つて収
納保持される。曲り管 13 に隣接するフレキシブ

ルホース 12 部分は彎曲溝 21 に沿つて本体尾部外周に巻回される。

上記収納操作においてその順序は作業者が任意に選択することができる。また溝全体の構成が左右対象であるためホース 12 及び延長管 14 を左右どちらの位置に収納することもできる。

22, 22 はフレキシブルホース 12 及び延長管 14 を収納溝内に掛止保持するための掛止手段である。第 5 図において 23 はホース 12 と延長管 14 とにそれぞれ取着されたリングで、端面に溝 23 a を有する。24 はそのリング 23 に対応して収納溝 17, 18 に形成された凹孔、25 はその凹孔 24 中に突出した回転掛止爪、26 はその回転掛止爪 25 を常には停止保持する板バネである。

フレキシブルホース 12 及び延長管 14 を収納溝 17, 18 中に収納すると、同時にリング 23 が凹孔 24 中に嵌入してその溝 23 a が回転掛止

爪 25 に掛止する。それによつてホース 12 及び延長管 14 は収納溝 17, 18 に掛止保持される。

以上のようにこの考案は、開放された二条の収納溝と、その溝の後端を互いに接続する本体尾部とによつてフレキシブルホース及び延長管を収納保持するようにしたものであるため、フレキシブルホース、延長管などの連結を外す手間を要せず、簡単にそれらホース、延長管などを収納できる。また、収納する順序が全く自由で、面倒な操作もないなど実用上真に使い易い優れた効果を発揮する。

図面の簡単な説明

第 1 図はこの考案の掃除機の使用状態を示す側面図、第 2 図は掃除機本体の斜視図、第 3 図はフレキシブルホース、延長管などの収納状態を示す斜視図、第 4 図は同後方より見た斜視図、第 5 図は第 3 図の 5-5 線断面図である。

図において 10 は掃除機本体、12 はフレキシ

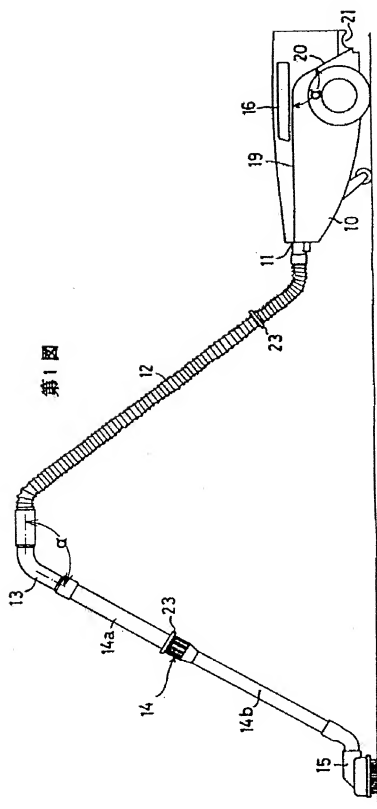
ブルホース、14は延長管、17, 18は収納溝
である。

実用新案登録出願人

ブラザー工業株式会社

代理人

青 島 祥 造

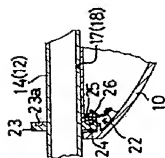


第1図

昭和四十四年四月一日 特許庁 代理人 廣島 洋行 謹啓

270703

第5図



第2図

